

年 組 名前：

住民有志「子どもの外遊び涼しく」



水鉄砲を使ったサバイバルゲーム「スプラウオース」に参加する子どもたち。山梨県峡南地区。

水鉄砲ゲーム考案、普及へ

峡南地域の住民有志が、水鉄砲を使ったサバイバルゲーム「スプラウオース」を考案し、普及を図っている。近年の猛暑の影響で子どもの外遊びの機会が減っていることから、水鉄砲を使って涼しさを感じられる屋外でのアクティビティとして定着を目指す。実行委代表の佐野康宏さん(40)は「峡南地域発のイベント」として、全国へ広めていきたい」と話している。

〈飯野 終平〉

佐野さんによると、スプラウオースは身延・富士川クラフトパークの関係者から猛暑の影響で夏季の来場者が減少するとの話を聞いたことをきっかけに考案。「暑さを避けるのではなく、楽しもう」との発想から、水鉄砲で水をかけ合うゲームにしたという。ゲームは2チームに分かれて行う。前後半の各3分間、障害物を置いたエリア内で相手チームのメンバーを水鉄砲で狙うのが基本ルール。参加者は紙を身に着けていて、水をかけられて紙が破れると「アウト」になる。アウトの合計数が少ない方が勝ち。1チーム最大15人で遊ぶことができる。佐野さんが知人に声をかけて昨年6月に実行委を設立。昨年夏に富士川クラフトパークと山梨・笛吹川フルーツ公園で計6回イベントを開き、好評だったことから今年も継続することにした。

佐野さんによると、スプラウオースは身延・富士川クラフトパークの関係者から猛暑の影響で夏季の来場者が減少するとの話を聞いたことをきっかけに考案。「暑さを避けるのではなく、楽しもう」との発想から、水鉄砲で水をかけ合うゲームにしたという。ゲームは2チームに分かれて行う。前後半の各3分間、障害物を置いたエリア内で相手チームのメンバーを水鉄砲で狙うのが基本ルール。参加者は紙を身に着けていて、水をかけられて紙が破れると「アウト」になる。アウトの合計数が少ない方が勝ち。1チーム最大15人で遊ぶことができる。佐野さんが知人に声をかけて昨年6月に実行委を設立。昨年夏に富士川クラフトパークと山梨・笛吹川フルーツ公園で計6回イベントを開き、好評だったことから今年も継続することにした。



(2026年8月5日付 山梨日日新聞 16面)

問1 峡南地域の住民有志が考案した、ゲーム名を教えてください。

.....

問2 実行委代表の佐野さんは、なにをきっかけに、このゲームを考案したのですか。

.....

問3 峡南地域で始まったイベントが、山梨県外でも開かれています。なにをすることで、広がって行きましたか。

.....